

欲望の翼 (1990)

阿飛正傳

DAYS OF BEING WILD

メディア	映画
ジャンル	青春 ロマンズ
製作国	香港
色彩	Color
時間	97分
初公開日	1992/03/28
公開情報	ハドソン=ファンハウス=プレノン・アッシュ提供/プレノン・アッシュ
映倫	G
	2018/02/03 [ハーク] (デジタルリマスター版)
リバイバル	2020/01/03 [ハーク] (デジタルリマスター版)
	2023/12/08 [ハーク] (4Kレストア版)

【解説】

そのスノップさが、多くの香港映画から得られる直截なイメージから隔たっているという理由で、不当な批判も被っているウォン・カーウァイ（王家衛）の大胆な青春映画である。先の批評を下す人は、香港人をみなサモ・ハンやユンファのステロタイプに閉じ込めて事足りりとしているとしか思えない。香港にもアメリカかぶれがいて、B級ノワールのグルーミーな雰囲気を楽しみ、それを60年代初頭を舞台にした青春群像に応用しようとして何が悪いのか？ この作品は余りにも俗物的であるがゆえ、香港映画を観る際の新たな視点の要求に向けて革命的なインパクトをもたらした。6人の主要登場人物それぞれの視点が混在し、物語よりも感情の絡み合いと離反を描くことに主眼を置いた幻惑的な文体は、ギリギリの所で劇的に機能するのにも驚く。ヨデイは養母レベッカに育てられ、自己の複雑な内面を持つ余す青年、自分を足のない鳥にたとえ、飛び続ける人生を夢みる。彼は後にフィリピンを訪ねるが……。プレイボーイのヨデイに惑わされる身持ちの堅いサッカー競技場の売り子スーは警官タイドにも愛されるようになる。船乗り憧れるタイドはやがて異国の地でヨデイと出会うだろう。ミミはレベッカの店のダンサーでヨデイに惚れぬいていたが、その親友で彼女に恋するサブにあてがわれる。そうした出来事と関係なく、最後、天井の低いアパートの一室で身支度をするギャングラー、スマークが映し出されるが、これは結局作られていないパート2の序章なのである……。そのパラレルな時間感覚、映画のイメージを体現するペレス・ブラードのラテン曲の使用、C・ドイルの驚異的なカメラワーク……と、見どころ、聴きどころは枚挙に暇がない。

【クレジット】

監督	ウォン・カーウァイ	Wong Ka wai
製作	ローヴァー・タン	Rover Tang
製作総指揮	アラン・タン	
脚本	ウォン・カーウァイ	Wong Ka wai
撮影	クリストファー・ドイル	Christopher Doyle
美術	ウィリアム・チャン	William Chang
出演	レスリー・チャン	Leslie Cheung
	カリーナ・ラウ	Carina Lau
	マギー・チャン	Maggie Cheung
	ジャッキー・チュン	Jacky Cheung
	トニー・レオン	Tony Leung

